



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2022

11月25日号

191
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒963-0201 郡山市大槻町字原ノ町3-1 TEL/FAX 024(954)7595

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

時代遅れの Rock' n' Roll Band



会長 新里 昌一

私の2つ上の世代のミュージシャン達が集まり、平和をテーマに歌っています。桑田佳祐、佐野元春、世良公則、Char、野口五郎の5人組の同級生バンドです。ちなみに私の従姉は小中学校でCharの同級生でした。このバンドはまるでジョージ・ハリソン、トム・ペティ、ボブ・デュラン等の5人組の「The Traveling Wilburys」のようです。このバンドも興味あればYou Tubeで聞いてください。

北京オリンピックが終わると、プーチン大統領はロシア軍をウクライナに侵攻させる暴挙に出ました。今回のウクライナ侵略では、罪のない子供たちが怪我をしたり、亡くなったりする姿がTVに映ると胸が痛くなります。いつの時代でも戦火の犠牲になるのは、無防備な一般市民です。昔と違って今は戦地の情報がリアルタイムで流れて来ます。一人の狂った独裁者のため、多くの民衆が家族や家を失い深い悲しみにくれています。歴史の教科書や映画で見た第2次大戦のヨーロッパ戦線のようです。跡に残るのは、焼けただれた国土と怒りや深い悲しみだけです。

我々の親の世代は太平洋戦争を体験しましたが、生まれて来た子供たちは戦争を知りません。ただ、その後も世界ではベトナム戦争、アフガン侵略、イラク戦争、多々の内戦やテロ等が続けざまに起こっています。人類は過去の歴史から学ぶ事は出来ないのでしょうか？

今回の題名の歌を聴いた時、「戦争を知らない子供たち」を思い出しました。70年頃はベトナム戦争が泥沼化し、日本でも文化人や学生を中心に反戦平和活動が盛り上がりを見せていました。北山修が作詞し杉田二郎が作曲、この歌が大阪万博のコンサートで初めて歌われました。数年後、ギターを覚え始め、ヘタクソながら良く歌ったものでした。

戦前の日本もそうだったように、今のロシアや中国は言論統制（弾圧）が行われ、民主主義を抑圧し反対意見も言えない状態になっています。まるでジョージ・オーウェルの小説「1984年」のようです。ジャーナリストが真実を伝えられない国は、独裁者が台頭する恐ろしい世界になります。

人々が自由に意見を言えて子供たちが笑っている、これが私の理想とする世界です。美しい地球に生まれて、全ての人が平等で平和に暮らす権利があります。この歌のように、「子供の命を全力で 大人が守ること それが自由と言う名の誇りさ」は胸に染みる言葉です。戦争はスターウォーズのようなSF映画のみで十分です。

福島県立医科大学 保健科学部診療放射線科学科だより

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 久保 均

皆さま、こんにちは。めっきりと冷え込んで参りましたが、お変わりございませんでしょうか？新型コロナウイルス感染者数がまた徐々に増え始めており、第8波が見え始めてきていると思います。先生方にはまた気の抜けない日々が始まる予感がいたしますが、どうぞ無理なさらず地域医療に貢献いただけることを願っております。

さて、今回も前回に引き続いて学生達が送っている大学生活について、いくつかご紹介いたします。

・放射線治療機器工学実験

この科目は2年生の後期で開講している科目で、実験テーマにはフィルム法を用いての①数値・光・放射線照射野の一致性および平坦度・対称性の測定、②ガントリ・コリメータの回転精度検証、③ウェッジフィールドの特性、があります。本実験では光が丘キャンパスにある附属病院のリニアックを利用させていただき実際に高エネルギーX線を用いた実験を行っており、光が丘キャンパスのリニアックでデータを取得して翌週に福島駅前キャンパスでそのデータを解析する、という流れで実験を行っています。残念ながら附属病院内での実験の様子は規定により掲載できないのですが、福島駅前キャンパスでの実験の様子をいくつかお示しします。



フィルムの解析方法は実験項目によって若干異なりますが、ルーペを利用した視覚的評価、フラットベッドスキャナーで読み込んだデータをエクセルを用いての解析・評価、そして市販ソフトウェアを利用した解析・評価を実施しています。さまざまな課題解決アプローチの手法を学ぶことで、放射線治療装置の仕様、構造の理解に加えて精度管理手法の考え方を身に付けることを目的としています。

先生方も、これらの実験テーマについてご記憶があるのではないかと思います。放射線治療を行っていない先生方にとっては、何だか昔そんなことを勉強したような気がするよな…、というところだと思います。なかなか実際の高エネルギーX線を扱っての実験をするのが難しい中、本学では附属病院の多大なご協力の下、リニアックを用いてのデータ取得などをさせていただいております。ここに、関係の皆様改めて感謝申し上げます。実際の装置を前に学生らの目は輝いており、いつもの講義では見られない積極的な態度を示していた、と担当教員も申しておりましたので、現場での実験というものがとても良い影響を与えていると思っております。

・日本診療放射線学教育学会学術集会で本学科学生が最優秀プレゼンテーション賞を受賞

先生方にはあまり耳慣れない学会名だと思いますが、日本診療放射線学教育学会という学会があります(<https://plaza.umin.ac.jp/~jsert/report.html>)。この学会は、「診療放射線学における教育技法、教育評価、教育制度、FD、継続教育、新人研修などの教育に関わる領域を研究対象とし、研究、教育の情報交換を中心とした活動を通じて、知識の交換ならびに関連団体との連絡提携を図り、診療放射線技師教育の発展に寄与することを目的とした学会（学会HPより引用）」とあり、我々のような診療放射線技師養成施設等に所属する方がより関心を持つような学会です。2022年8月27日に順天堂大学にて開催されたこの学会の第16回学術集会で、2年生の鈴木陽大君が学生プレゼンテーション「同じテーマでプレゼンテーションスキルを競う」というセッションで発表し、見事最優秀プレゼンテーション賞を受賞しました。鈴木君の発表タイトルは「福島県立医科大学保健科学部の特徴と学び」というもので、本学部の特徴について学生アンケートの結果と教員アンケートの結果の差異を明らかにするというものでした。学生アンケートでは、第1位：最新の教育機器が揃っている、第2位：立地・交通の利便性が良い、第3位：キャンパスが新しく雰囲気が良い、第4位：カリキュラム・実習が充実している、第5位：少人数制である、というものでした。教員アンケートでは、第1位：最新の教育機器が揃っている、(同数で) 第1位：少人数制である、第3位：立地・交通の利便性が良い、第4位：キャンパスが新しく雰囲気が良い、第5位：カリキュラム・実習が充実している、となりました。つまり、少人数制というのは学生側はほとんど意識していませんが、教員側は特徴として位置づけている、というところが大きく意識の違いとして現れた、というものでした。これらの結果に基づき、より少人数制を活かす教育をして欲しい、とか最新の機器や新しいキャンパスというのはいずれ色あせるので、時間と共に充実する授業を展開して欲しい、という学生からの要望を提示した、という発表でした。内容における気付きのポイントの面白さもさることながら、とても上手に発表したということで受賞につながったと思う、と鈴木君の発表を聞いていた先生方もおっしゃっていました。鈴木君、受賞おめでとうございました。

このように、まだまだ新型コロナウイルス感染予防もあって自由な活動は難しい状況ではありますが、少しずつ学外での活動等も動き始めております。日常の学業に支障を来さない範囲において、学会や研究会等への参加は学生の自主性に基づく限りは制限を行っておりませんので、是非先生方が開催される研究会等においても学生の参加をできるようにしていただけますと大変嬉しいです。また、学生も参加できる研究会等の開催についてご連絡をいただければ学生に周知させていただきます。

引き続き、本学における学生教育に多大のご理解とご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

～ 県会長 & 東北地域理事 「オンレコ」 ～

1 「県第2回執行委員会及び第2回理事会」

9月9日、執行役員が事務所に集まり、理事会や来年度体制について議論を行いました。その後、理事会をWeb開催して議論を行いました。

2 「JART学術大会」

地域理事として前日から大会運営の手伝いをし、式典リハーサルにも出席しました。

JART理事として第2会長（←会場？）担当となり、地元の技師と協力して運営を行いました。2日目には、医療安全管理委員会のシンポジウムで松井さんの講演を聞きました。最終日には、担当する医療画像情報精度管理委員会のサイバー攻撃に関するシンポジウムでは、村上さんのサイバー攻撃に関する講演や、市民公開講座で五月女先生の講演も聞く事が出来ました。その他にも良い企画や発表が多々ありました。残念ながら神戸観光は出来ませんでしたが良い勉強になりました。

3 「第2回東北会長

及び教育委員の会議合同会議」

9月21日に県Webex法人版を借りて開催しました。みちのくこまちや業務推進委員会、告示研修、TCRT2022について話し合いを行いました。

4 「JART第4回理事会」

10月1日午後にWeb開催があり、医療画像情報精度管理委員会の報告と東北地域からの要望を説明しました。

5 「国立がんセンター中央病院 部長逮捕」

10月5日夜に衝撃的なニュースが飛び込んできました。放射線技術部長が業者から賄賂を受け取り、導入をめくり便宜を図ったと収賄の疑いで逮捕されました。東京都技師会会長であり、JART業務執行理事でもあり大変残念です。

6 「TCRT2022への準備」

式典での表彰状や副賞の準備、学術奨励賞についてJARTとの交渉等を行いました。前日の東北会

長及び教育委員の合同会議等を急ピッチで進めています。

7 「県学術奨励賞のお詫び」

令和元年に受賞した4名の方は、以前に会誌に記載はしました。その後に県学術大会がWeb開催を続けて表彰式をせず、表彰状を渡し忘れておりました。4名の方には大変申し訳ありませんでした。今年度10月30日の学術大会の際に改めて表彰式を行いました。



令和4年度 福島県診療放射線技師会 診療放射線技師 学術大会 開催

実行委員長 松井 大樹

関係各位には厚く御礼申し上げます。ハイブリッド開催という形式で初の大会となりましたが、広報に関して難しさを感じました。会員の皆様の施設に対しての周知さえも上手くいかなかった事を反省し、次回開催時には広報に関して考えていきたいと思えます。学術委員のみならず福島県診療放射線技師会のイベントという認識のもと、皆で更により学術大会と企画していきたいと思えます。

- ・一般公開講演 登録数：一般18名 高校生11名
- ・会員用学術大会 来場者：66名
Web登録者：技師会員120名
保健科学部学生：1名
- ・一般公開講演 視聴回数148回（一般の方と技師を含みます）最大42回
- ・学術大会 視聴回数356回 最大55回



委員会紹介

ネットワーク委員会

委員長 石森 光一

当会に10の委員会が存在する中で、目立った活動を行わない（何しているの？と思われる）ネットワーク委員会ですが、紙面をお借りして当委員会について紹介します。

ネットワーク委員会は委員長・副委員長と県北・会津・いわき・県南各地区協議会から1名ずつの計6名の委員で構成されています。

活動内容は、当技師会の理事会および各委員会・地区協議会専用メーリングリストの構築と運用管理、ホームページの更新・管理やメールマガジンでの情報配信、Web会議や各種セミナーで使用するWebexの予約管理と配信サポート、各委員会からの要請を受けてシステム構築など多岐にわたる活動を行っています。

現在の委員会の問題点として、業務内容を何処まで委員に分担し活動するかの境界が決められないことです。この点に関して業務内容をシステム化し、負担の分散を検討しています。

今後の活動として、会員および訪問者がホームページ上の情報にアクセスしやすいサイトの再構築、賛助会員であるメーカーの皆様には当技師会ホームページを有効に活用していただき、セミナー開催情報を随時会員に配信していきたいと考えています。コロナ禍で、以前は注目されていなかったシステムの活用が技師会活動の上で当たり前となり我々の活動の一部となっています。

ネットワーク委員会は、これらを活用し会員に対して有益な情報を届けていきたいと考えています。会員の皆様からのご要望があれば検討していきますので是非ご意見をお聞かせください。

福島県フレッシュャーズセミナー開催 (Web開催)

公益社団法人福島県診療放射線技師会
福島県診療放射線技師会では、フレッシュャーズセミナーを2022年9月25日(日)に開催いたしました。数年前より感染対策を考慮してWeb開催としています。エチケット・マナー、医療安全、感染対策、医療コミュニケーション、気管支解剖、被ばく低減、(昨年までは診療報酬を追加)、入会案内の項目を行いました。参加者は7名と多くはありませんでしたが、参加者からはお礼の言葉をいただきました。一部をご紹介しますと「お忙しい中フレッシュャーズセミナーを開いてくださりありがとうございます。気管支の解剖は勉強していましたが、塗り絵をし、気管支体操をしたことで更に理解を深めることが出来ました。また、コミュニケーションや感染対策など今日学んだことを今後の仕事で活かしていきたいです。」その他も全体的に良好な評価をいただきました。受講者はWeb開催ですが、真剣に聴いていただけたことが分かります。

最後に、本セミナー開催のために尽力いただきました生涯教育委員、講師の皆さまに感謝を申し上げます。

これからも施設長や先輩方は、ぜひ新人・若手に参加を促してください。

フレッシュャーズセミナー参加報告

総合南東北病院 山本 唯人

今回のセミナーでは、エチケット・マナーや感染対策など主に医療人として基本的なことや、気管支解剖などについて講義していただきました。新しく医療の現場に身を置くために大切なことを再確認することができ、また不足していた知識を身に着けるよい機会になったと思います。学んだ事を今後の業務に生かし、特に医療コミュニケーションについて意識していきたいと思います。

気管支解剖は事前に資料をいただき、気管支体操も合わせてわかりやすく説明していただきました。画像での解剖を確認しながら直感的に理解することができました。ただ参考書などを眺めるより、体の動きを入れることでより覚えやすかったように感じます。

今回のセミナーを生かし、普段から医療人とし

ての自覚をもって行動し診療放射線技師として成長していきたいです。

地区だより

県南地区

「ピンクリボン in 郡山2022」開催報告

たむら市民病院 白石 嘉博

2022年10月2日(日)の午前10時から12時45分にかけて開催され、今回も感染対策によりオンラインのみでの開催となりました。

事前申し込みは80名で、医療と行政関係者が大部分を占めました。啓発キャンペーンの趣旨からしますと、受講した方々からの情報発信が特に重要になるところです。オンライン開催の長所により、県外から参加くださった方々もいました。私たちも他団体の取り組みを参考にしていきたいと考えています。今回は、アーカイブ配信も実施しました。当日の模様を10月31日までの期間中、20名の方々に配信できました。

オンライン開催が続くと、どうしても情報の選別が主催者側に委ねられ、受講する側の選択の余地が狭まってしまいます。乳がん啓発キャンペーンと銘打ったこの取り組みは、参加する皆さんそれぞれが「言葉を交わす」、「思いを伝える」、その場こそが大切なのだな、と感じさせられました。来年こそは、コロナ禍前のような対面での開催を、との想いを胸に次回の企画を考えていきます。

編集後記

感染者数が落ち着いた初秋、京都の核医学会に参加しました。久しぶりの現地参加は非常に有意義なものでした。また気兼ねなく学会参加や旅行に行けるようになると良いですね。

福島放技ニュースでは、会員の皆様に有意義な情報をお届けできるよう、投稿を募集しております。研究会の開催案内・活動報告はもちろんですが、皆様の知りたい情報などのリクエストを広報編集委員会までお伝えください。

(國分)